

令和 7 年度

シラバス (専門教科)

～生活情報科 1 年～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

生活情報科 1 年 専門教科

ビジネス基礎・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

簿 記・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

情 報 処 理・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

ファッション造形基礎・・・・・・・・ P 8

「ビジネス基礎」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 ビジネスに関する基礎的な知識・技術を習得させる。 2 経済社会の一員としての心構えをもたせ、ビジネスの諸活動に適切に対応できるような能力・態度を育てる。
使用教科書・副教材等	ビジネス基礎、ビジネス基礎ワークブック（東京法令出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	単 元 名 学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い 評 価 基 準	備 考 (学習活動の特記事項 他)	考 査
第 1 学 期	第1章 商業の学習ガイダンス	4	- ビジネスの世界の特徴的な4つのシーンから、理解力と実践力を身に付ける必要性を理解させる。 - 自ら考え、自ら学ぶ、基礎基本の大切さ、進路、生涯学習の観点から照合の学び方を理解させる。	商業経済検定に関連する内容を1年間で学習し、資格取得も可能です。	中間 考 査
	第2章 経済と流通の基礎 1 経済の仕組みとビジネス 2 社会の変化とビジネスの発展 3 経済活動と流通	5	- 商品が物の売買だけでなく、サービスも含まれることや経済の仕組みを理解させる。 - 生産・流通・消費の経済サイクルの中で、流通の持つ様々な役割を理解させる。	簿記は、商品の売買を記録するために作られた仕組みであることを関連付ける。	
	第3章 ビジネスの担い手 1 ものの生産者 2 サービスの生産者 3 小売業者	6	- 商品を製造して、市場に提供することが、ものの生産者の基本的な役割であることを理解させる。 - サービスの生産者が身近な存在であることを理解させる。		期 末 考 査
		7	企業の種類を学習します。地元企業に関するレポートを作成します。		
【課題・提出物等】 1 授業中で使用するプリント 2 レポートを提出します。 3 次の(1)、(2)を定期考査終了時に提出して下さい。 (1) 各授業の板書内容と興味・関心を持った事柄をノートに記入し、提出します。 (2) 問題集を解答し自己採点したものを、提出します。					
【第1学期の評価方法】 1 中間考査と期末考査の成績、小テスト、レポート、プリント・問題集等の提出物の内容、学習への意欲・態度などで評価します。 2 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。					
第 2 学 期	4 ビジネスの担当者	9	物流を構成させる5つの活動を理解させ、物流業者の役割と課題を理解する。		中間 考 査
		10	- 資金の需要者と供給者の隔たり、その橋渡しを理解させ、金融機関について理解させる。 - 保険が必用な理由、保険のしくみについて理解させる。		
		11	サービスの意味を理解させるとともに、サービス業の今後や新しいサービスについて事例を通じて学習させる。		期 末 考 査
第4章 ビジネスと売買契約 1 売買契約と代金決済	12	- 商取引における契約の重要性を理解させる。 - 通貨の種類やその発行主体、小切手、手形の概要について理解させる。			

第3学期	【課題・提出物】 1 実習課題の授業終了時に提出します。 2 毎時、自己評価表に記入し提出します。			
	【第2学期の評価方法】 1 中間と期末の定期考査の成績、実習課題、自己評価表、学習への意欲、態度などで評価します。 2 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。			
	2 売買に関する計算 第5章 1 コミュニケーションの心がまえ 2 コミュニケーションの方法 3 日常の会話	1 2 3	・ 割合の基礎である分数・小数などの表示方法や基本的割合に関する公式を理解させ、商業計算の基礎を理解させる。 ・ 仕入原価と売価の計算方法を理解させ、利益と原価の割合が利益率であることを十分に理解させる。 ・ 外国人とのコミュニケーションについて生徒に感心を持たせる。 ・ 世界にはさまざまなマナーがあることをまなびその重要性を理解させる。 ・ あいさつやジェスチャーなど、コミュニケーションを取る際に重要な要素を伝える。	・ 「商業技術」の学習につながります。 ・ 「簿記」の学習へとつながります。 ・ 商業経済検定が実施され、希望により受験し取得が可能です。
	【課題・提出物等】 1 模擬問題集を1月下旬までに提出します。 2 練習課題を3月上旬までに提出します。 3 学年末考査終了時にノート・問題集などを提出します。			
	【第3学期の評価方法】 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。			
【年間の学習状況の評価方法】 各学期末における観点別評価を基に、それを総合して学年末に5段階の評定にまとめる。				

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、経済社会の一員としての心構えについて理解している。	- 定期考査 - 小テスト
思考・判断・表現	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして適切に判断し、創造的に表現する能力を身に付けている。	- ノート - 発表の内容や仕方 - 授業中の配布物（プリントやレポート）
主体的に学習に取り組む態度	経済社会の一員として望ましい心構えと関心を持ち、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技能をもとに、ビジネス分野における諸活動や社会の課題に対し、主体的に取り組む思考して取り組んでいるか。	- 学習活動への参加の仕方や態度 - 練習問題集 - ノート - 配布物の整理
【観点別学習状況の評価】 「十分満足できる」状況と判断されるもの……………A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの………B 「努力を要する」状況と判断されるもの……………C		

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	ビジネス社会は、とても身近にある存在です。日ごろから、ニュースや新聞などでビジネス分野に関心を持ちましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	欠席した場合は、その日のノートを級友から借りて写させてもらい、わからないところを教えてもらうことが大切です。

「簿記」	単 位 数	2 単位
	学科・学年	生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 企業において日常発生する取引を合理的，能率的に記帳する知識と技術を身につけます。 2 取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至るまでの簿記の基本的な仕組みについて理解を深めます。 3 作成した帳簿，伝票，仕訳帳や貸借対照表，損益計算書を通してビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てます。
使用教科書・副教材等	新簿記新訂版（実教出版），反複式簿記検定問題集 3 級改訂版（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	単 元 名 学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い 評 価 基 準	備 考 (学習活動の特記事項 他)	考 査	
一 学 期	「簿記」学習について	4	・ 「簿記」学習の意義や内容， 学習や評価の方法を理解しま す。簿記の意味と目的につい て理解します。	・ 簿記に関連す る内容について 年間を通して学 習し，資格取得 も可能です。	中 間 考 査	
	1 簿記の基礎	5	・ 簿記の歴史を通して簿記の 不易性や普遍性を考察し，簿 記を学ぶ必要性を理解します。	・ 記帳練習を通 して，ビジネス の諸活動を理解 する能力も育成 されます。		期 末 考 査
	(1) 企業の簿記 (2) 資産・負債・資本と貸借 対照表 (3) 収益・費用と損益計算書	6	・ 資産・負債・資本の基本概 念とそれらの相互関係及び貸 借対照表の構造について理解 します。			
	(4) 簿記一巡の手続き	7	・ 収益・費用の基本概念とそ れらの相互関係及び損益計算 書の構造について理解します。 ・ 取引の仕訳から勘定の記入 を経て決算に至る簿記一巡の 手続きの 基本的流れについ て理解します。 ・ 勘定の記入に関しては，勘 定の役割を理解し，仕訳の方 法を身につけます。 ・ 決算に関しては，試算表の 作成方法と決算整理を伴わな い決算手続きを身につけます。			
【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリント 2 次の(1)，(2)を定期考査終了時に提出してください。 (1) 各授業の板書内容と興味・関心を持った事柄をノートに記入し，提出します。 (2) 問題集を解答し自己採点したものを，提出します。						
【第1学期の評価方法】 1 中間考査と期末考査の成績，小テスト，プリント・問題集などの提出物の内容，学習活動 への意欲・態度などで評価します。 2 学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評 価を行う。						

二 学 期	2 各種取引の記帳	9	・ 簿記上の現金の入金・出金及び当座預金の預け入れ・引き出しなど，現金と当座預金に関する基本的な取引の記帳について理解します。	中間 考 査	
	3 帳簿と伝票	10	・ 手形の振り出し，受け取り，裏書きなどの基本的な手形に関する債権・債務の記帳について理解します。帳簿の種類と役割，企業に分課制度と帳簿全体の仕組みについて理解します。		期 末 考 査
		11	・ 入金伝票，出金伝票，振替伝票の作成方法及び集計，転記の法を身に付けます。		
	4 決算	12	・ 決算整理の意味及び必要性を理解します。 ・ 貸借対照表と損益計算書の作成方法を理解し，勘定式を用いて，控除形式による貸借対照表と2区分による損益計算書の形式について考察します。		
【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリント 2 次の(1)，(2)を定期考査終了時に提出してください。 (1) 各授業の内容や興味・関心を持ったことをノートに記入し，提出します。 (2) 問題集の問題を解答し自己採点したものを，提出します。 3 問題集により学習内容の復習をし，自己採点をして提出します。					
【2学期の評価方法】 1 中間考査と期末考査の成績，小テスト，プリント・問題集などの提出物の内容，学習活動への意欲・態度などで評価します。 2 学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。					
三 学 期	5 総合復習	1	・ 検定試験3級の範囲を復習しながら習熟します。	学 年 末 考 査	
	6 特殊な取引の記帳	2	・ 割賦販売，委託販売，未着商品売買，試用品販売等について基本的な処理法を考察します。		・ 検定の模擬問題をして，検定にそなえます。 ・ 総合的な記帳練習問題により取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至るまでの基本的な仕組みについて理解を深めます。
	7 本支店会計	3	・ 支店会計の独立による本支店間の取引及び本店集中計算制度による支店相互間の取引の記帳について理解します。 ・ 財務諸表の合併手続きについて考察します。		
	8 会計処理の合理化		・ 企業の規模が大きくなり，取引量が増えた場合，記帳を合理化するために，どんな工夫がされるかを探究します。		
【課題・提出物等】 1 問題集を1月下旬までに提出します。 2 記帳練習問題を3月上旬までに提出します。 3 学年末考査終了時にノート・問題集・記帳練習問題集などを提出します。					

【三学期の評価方法】

- 1 学年末考査の成績，ノート，問題集，記帳練習問題集などの提出物，学習活動への意欲・態度などで評価します。
- 2 学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。

【年間の学習状況からの評価方法】

各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に5段階の評定にまとめる。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，その基本的な仕組みについて理解している。 簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，適正な会計処理を行うことを合理的計画し，その技術を適切に活用している。	・ 定期考査，小テスト ・ 計算能力・帳簿記入への正確性と明瞭性・練習問題集・記帳練習問題
思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に，ビジネスの諸活動に係るものとして適切に判断し表現する創造的な能力を身に付けている。	発表の内容や仕方・授業の中で使用するプリント・練習問題集
主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心を持ち，適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに，会計処理を行う実践的な態度を身に付けている。	学習活動への参加の仕方や態度・練習問題集・授業の中で使用するプリント・ノート・配布物の整理
【観点別学習状況の評価】 「十分満足できる」状況と判断されるもの……………A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの………B 「努力を要する」状況と判断されるもの……………C		

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・ 企業における取引を合理的，能率的に記帳する知識と技術を習得するために，取引を分解し，取引要素の結合関係をしっかり身に付けることが大切です。 ・ ノートは，板書をそのまま写すのではなく，自分で考えたことや感じたこと，さらに興味を持ったことをメモしたり，整理すると，後に役立ち，学習に広がりが生れます。 ・ 授業で取り上げる様々な課題について，教科書に書かれている文章を単に読むだけでなく例題や記帳練習を通して理解を深めることが大切です。 ・ より合理的，能率的に記帳する方法を探究しながら学習を進めることが大切です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	授業では，計算用具を使用しますので，電卓または算盤を用意してください。その他，教具として平定規・赤色の筆記用具を使用します。欠席した場合は，その日のノートを級友から借りて写させてもらい，わからないところを教えてもらうことが大切です。

「情報処理」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を身につける。
使用教科書・副教材等	情報処理（実教出版）全商情報処理検定模擬試験問題集ビジネス情報部門3級（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	単 元 名 学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い 評 価 基 準	備 考 (学習活動の特記事項、他)	考 査 範 囲
第 1 学 期	1 企業活動と情報処理 (1) 情報処理の重要性 (2) 情報モラルと法規 (3) コミュニケーションと情報デザイン	4	・コンピュータを利用した情報の処理や活用の重要性を理解させる。	・ ガイダンスをよく理解し、無理のない目標設定を立てましょう・	中間 考 査 期 末 考 査
	2 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク (1) コンピュータシステムの概要	5	・情報処理に関わる職業や仕事を学ぶことにより、ICT 人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解させる。		
		6	・身近な事例から情報の価値を考える学習活動により、情報を正しく取り扱うことの大切さに気づき、そのために必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解させる。		
		7			
【課題・提出物等】 1 課題 2 小テスト					
【第1学期の評価方法】 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。					
第 2 学 期	(2) 情報通信ネットワークの仕組みと構成 (3) インターネットの活用 (4) 情報セキュリティの確保	9	・コンピュータの基本的な機能と構成、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解し、それを活用する基本的な技術を身につけさせる。	・個人情報や情報モラルについては自分の周りの身近な問題として自分事として考えましょう。	中間 考 査 期 末 考 査
	3 情報の集計と分析 (1) ビジネスと統計	10	・情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法を理解する。		
		11	・情報化社会に参画するために個人が身につけるべきセキュリティ管理の方法について理解させる。		
		12			
【課題・提出物】 1 課題 2 小テスト 3 情報処理に関する実技					
【第2学期の評価方法】 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。					

第 3 学 期	(2) 関数を利用した表の作成	1	・情報の重要性を理解し、情報を分析して、傾向を把握する能力を身につけさせる。	・マーケティング分野の内容も学習します。	学 年 末 考 査	
	(3) グラフの作成	2	・基本的な操作や計算式、関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成をする技術を身につける。			
		3	・グラフの種類や構成要素、特色を理解し、表計算ソフトウェアを利用して目的に合ったグラフ作成方法を理解する。			
	【課題・提出物等】					
	1 課題 2 小テスト 3 情報処理に関する実技					
【第3学期の評価方法】						
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。						
【年間の学習状況の評価方法】						
各学期末における観点別評価を基に、それを総合して学年末に5段階の評定にまとめる。						

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 練習問題集
思考・判断・表現	・企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	・ 実習課題 ・ レポート ・ 練習問題集 ・ グループワークの取組
主体的に学習に取り組む態度	・企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・ 定期考査 ・ 検定試験の取得状況 ・ 授業出席、授業態度
【観点別学習状況の評価】 「十分満足できる」状況と判断されるもの……………A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの………B 「努力を要する」状況と判断されるもの……………C		

3 担当者からのメッセージ

基本的技能や知識を理解し習得するだけでなく、それらを活用し工夫しながら学習する態度が不可欠です。

ファッション造形基礎	単位数	2 単位
	学科・学年	生活情報科・第1年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 被服の構成、被服の材料の選択、被服製作に関する基本的な知識や技術を習得する。 2 身に付けた知識や技術を活用し、ファッションを造形することができるようになる。
使用教科書・副教材等	ファッション造形基礎（実教出版） 家庭基礎（実教出版） 家庭基礎学習ノート（実教出版） 家庭科技術検定問題集（基礎編）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	単 元 名 学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い 評 価 基 準	備 考 (学習活動の特記事項他)	考 査
1 学 期	6章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する		・ なぜ人は衣服を着るようになったのか、人と衣服のかかわりについて学び、被服の機能について、自然環境、社会環境とのかかわりから理解を深める。 ・ 被服材料の特徴や表示を理解する。	・ 家庭科技術検定被服製作4級の実施 (手縫い・ボタン付け・ミシンの取り扱い等) ・ 基礎縫い練習用布を用い繰り返し練習をして技術の習得を図る。 家庭科問題集(基礎編) ※教科書に載っていない内容については学習プリントで補う。	中間 考 査
	3章 洋服の製作 1節 製作の基礎				期末 考 査
	2章 衣服の素材 1節 衣服素材の種類 2節 衣服素材の性能と選択	4	・ 縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。		
		5	・ 衣服素材の種類と特徴などについて学び、衣服素材の性能について理解する。		
		6			
	3章 洋服の製作 2節 製作例 10 ショートパンツ製作	7	・ 衣服素材の改質・加工の技術にはどのようなものがあるかを学ぶ。 ・ 洋服の製作を通して基礎的な知識及び技術を習得する。 (1) 道具の扱い方 (2) 型紙の使い方 (3) 縫い代の始末の方法		
【課題・提出物等】					
・ 基礎縫いの作品、家庭科技術検定4級作品（巾着）提出					
【第1学期の評価方法】 ※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において、観点ごとの総括的評価を行う。					
2	1章 衣服の構成 2節 立体構成衣服と平面構成衣服	9 10	・ 衣服の構成には、立体構成と平面構成の2つがあることを理解する。 ・ 洋服の製作を通して基礎的な知	・ 家庭科技術検定被服製作洋服3級の実施	中間 考 査

学 期	3章 洋服の製作 2節 ショートパンツ 製作	11 12	識及び技術を習得する。 (1) 待ち針の打ち方 (2) 直線縫い (3) 曲線縫い (4) 三つ折り縫い	・ 家庭科技術検定被服製 作3級型紙利用 ・ 作品の着装をする。	期 末 考 査
	【課題・提出物等】 ・ ショートパンツ提出, 課題提出				
	【第2学期の評価方法】 ※ 学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において, 観点ごとの総括的 評価を行う。				
3 学 期	ミシン縫い・手縫いの復習	1 2 3	・ 作品を製作し, 手縫いやミシ ン縫いについての理解を深め, 基本 的な技術を身に着ける。	・ 4級検定の布を利用し た小物製作 ・ 3級検定の残り布を利 用した刺し子のランチョ ンマット製作等	学 年 末 考 査
	【課題・提出物等】 ワークプリント提出, 作品, 課題の提出				
	【第3学期の評価方法】 ※ 学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において, 観点ごとの総括的評価を行う。				
【年間の学習状況の評価方法】 各学期末における観点別評価を基に, それを総合して学年末に5段階の評定にまとめる。					

(2) 評価の観点, 内容及び評価方法

学習状況を, 「知識・技術」, 「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	被服の構成, 被服材料の種類や特徴, 被服製作などについて体系的・系統的に理解し, その技術を身に付けている。	・ 定期考査 ・ 作品
思考・判断・表現	被服製作やデザインに関する課題を発見し, 合理的かつ創造的に解決することができる。	・ 定期考査 ・ 各時間の課題(製作手順等)の把握 ・ 各時間の課題解決の状況(作品の仕上がり等)
主体的に学習に取り組む態度	衣生活の充実向上を目指して自ら学び, 主体的かつ共同的に課題に取り組むことができている。	・ 実習計画と進捗状況 ・ 定期考査
【観点別学習状況の評価】 「十分満足できる」状況と判断されるもの……………A 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの……………B 「努力を要する」状況と判断されるもの……………C		

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・ 意欲を持って授業に臨むこと。 ・ 製作に当たっては, 人に頼らず自分で理解し, 進めること。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・ 時間厳守で授業を始めます。時間いっぱい取り組むこと。 ・ 教科書・ファイル・プリント・作品等はしっかり自己管理すること。
その他	・ 実習の技術や, 作業の進度など個人差はありますが, 目標に向かって努力を続けましょう。